

事業継続力自己診断シート 解説・診断結果

(一社)東京都中小企業診断士協会 城東支部

自己診断の「はい」の数はいくつでしたか？

13個以上 **まずまずです** : BCPの考え方に則った取組みが行われています。継続的な改善活動の推進をお勧めします。

6～12個 **もう少しです** : 災害時に備える意識は高いですが、まだ改善したほうが良い点があります。

1～5個 **頑張りましょう** : 会社が被災した場合、経営に大きな影響が出る可能性があります。早急に基本的な災害対策から取組むことをお勧めします。

「いいえ」と答えた質問については、解説を読んで対策を検討しましょう。

項目	質問	解説
(リスク) の認識	①あなたの会社がある場所の ハザードマップ を確認したことはありますか？	地域の災害リスクを把握することが災害対策のスタートです。江東5区は、隅田川・荒川・江戸川などの氾濫、首都直下地震などのリスクがあります。また人口密集地のため火災延焼のリスクがあります。
	②被災したらあなたの会社の 事業がどうなるか を考えたことはありますか？	いま事業所が被災した場合の事業の操業レベルと復旧のイメージを持っておきましょう。
(ヒト) の安全・管理	③従業員が 帰宅困難 になった場合の準備をしていますか？	災害発生時には、交通機関が停止すると従業員が帰宅できないことが想定されます。また東京都では一斉帰宅の抑制を推進しています。飲料水や非常食、簡易トイレなど3日分の物資を備蓄するよう努めましょう。
	④災害時の従業員の 安否確認 方法を決めていますか？	災害時に従業員の安否確認を迅速に行うことは災害対応の第一歩です。安否確認(初動)の遅れが人命や事業継続に大きな影響を与えます。
	⑤定期的に 避難訓練 を実施していますか？	災害時に従業員が冷静かつ適切に行動できるようにしましょう。年1回以上は訓練を実施して、訓練後には振り返りを行い、避難時間や参加者の行動を評価しましょう。
	⑥特定の個人でないとできない 重要な業務 を把握していますか？	その個人が被災や出社困難になった場合、事業が完全に停止する可能性があります。重要業務は複数人で担当できるようにしましょう。
(モノ) の保全・確保	⑦会社の建物が 新耐震基準 (1981年)を満たしているか知っていますか？	建物の倒壊リスクは、人の安全と事業継続に直結する最大のリスクです。1981年6月1日以降に建築確認を受けた新耐震基準を満たしていない場合は必要な対策を検討しましょう。
	⑧あなたの会社の事業継続に必要な 不可欠な設備 を把握していますか？	事業を早期に再開するためには必要不可欠な設備を優先して復旧する必要があります。そのため事前に必要不可欠な設備をリストアップしておきましょう。
	⑨重要な原材料等の確保について、 代替方法 を検討していますか？	主要な仕入先が被災により機能停止した場合に、原材料・部品の供給が途絶え、生産やサービス提供が停止するリスクがあります。
(カネ) の準備	⑩被災時に利用できる 保険 に加入していますか？	現在加入している損害保険が、火災だけでなく水災や地震による被害も補償されるか、また休業補償が付いているかなど、内容を十分に把握しておきましょう。
	⑪平時の運転資金に加えて1ヶ月分以上の 余剰資金 を確保していますか？	被災してすぐに融資を受けるのは難しいことが想定されます。十分な運転資金を用意しておきましょう。
(情報) の管理	⑫コンピュータのデータは バックアップ をとっていますか？	コンピュータが物理的に壊れた場合に備えて、重要データはバックアップを取得しておきましょう。被災した場合でも、速やかに復旧できるように別事業所等にバックアップ情報を保管することを検討しましょう。
	⑬災害時に利用できる紙の顧客・取引先等の 連絡先リスト はありますか？	コンピュータが壊れた時でも主要取引先に連絡が取れるように、紙に印刷した連絡先リストを用意しておきましょう。災害時に、紙のリストを見ながら電話やメールで連絡できます。
	⑭IT機器や システムが停止 した場合の影響を把握していますか？	重要なITシステムが停止した場合の影響を把握しましょう。必要に応じて、手作業で業務を進める等の代替方法も検討しておきましょう。
	⑮事業継続に不可欠な紙の 重要情報 (例:契約書・設計図面等)を把握していますか？	紛失すると再作成が難しい契約書や設計図面、許認可証書などが重要情報になります。必要に応じて、紙を複製もしくはデータ化して保管するようにしましょう。
(体制) の準備	⑯災害時に 社長の代行 で指揮が取れる人がいますか？	災害時に社長が不在の場合もあります。事前に社長の代行ができる人を選んでおきましょう。
	⑰取引先や同業者等と災害時の 相互支援 について話したことはありますか？	発災後の救助・片付け等の相互支援や生産の代替の可能性などを、仲間同士で検討しておきましょう。

【結果の活用】 自己診断シートで現状を認識できたら、次は「城東BCPひな型」を作成して災害時でも被害を小さくできるよう、また早期に事業復旧できるように備えましょう。